福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	サクサ株式会社　九州支社
代表者名	梶原　英彦
所在地	福岡市博多区博多駅前 1-15-20 NMF 博多駅前ビル 5F
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	情報通信業
電話番号	092-473-1511
ホームページ	https://www.saxa.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	◆働き方の多様性に対応し、生活と仕事の調和、両立を実現することを目的に、モバイルパソコンとスマートフォンを貸与しテレワーク制度を導入。社員が業務遂行と時間配分に主体性を持って就業することが可能。 ◆フレックスタイム制（フレキシブルタイム制）により治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入し、心身の負担軽減と健康でゆとりある生活の実現を目指し取り組む。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：サクサ株式会社　九州支社

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・「ダイバーシティ＆インクルージョン推進委員会」を創設。女性の活躍推進、性別、年齢、障がい、国籍にかかわらず働きやすく、活躍できる職場づくりを実践。 ・多様な人材活用による新たな価値を創造し、多様性を受け入れ、相互に認め合う組織風土の醸成を目指す。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・働き方の多様性に対応し、生活と仕事の調和、両立を実現することを目的に、テレワーク制度・フレックスタイム制を導入。 ・フレキシブルタイム制により治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメントに対する相談窓口を設置。 ・全社員に対して人権問題やハラスメントの防止、コンプライアンスに関する研修・イーラーニングを実施。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・社員のメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的にストレスチェック制度を年に1回実施。 ・メンタルヘルスに関する研修や産業医との面談を実施。 ・全社員に対して健康診断を年に1回実施。必要な社員にはVDT検診を実施。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・新入社員から育成ステージに合わせた教育・研修プログラムを継続的かつ計画的に実施。 ・社員の成長を支援することを目的として、教育・研修体系を整備。 ・事業環境の変化や教育ニーズを捉え、研修プログラムのレビューを行い、教育・研修効果の向上を目指す。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底。 ・ペットボトルキャップの回収を実施。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・ISO14001を取得しており、グループ全体でCO2排出量を2030年度までに2018年度比30%削減を目指す。 ・CO2排出量の小さい部品の採用や製品の開発、CO2排出抑制に貢献しうるイノベーションの提供 ・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を実施。						○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・バイオプラスチックを使用した環境配慮製品の創出及び推進を実施。 ・全社員に対して環境問題に関する研修・イーラーニングを実施。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけを実施。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・製品、サービスを安全に利用するための情報発信サイトの構築。想定されるリスクの洗い出しと対策を案内し品質確保に努める。 ・お客様相談センターの設置や顧客の声・意見を集約し改善を図る仕組みを構築。 ・ISO9001を取得しており、品質マネジメントシステムを管理・運用している。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・サクサユニバーサルデザイン7原則を提唱し、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが使いやすいよう配慮した製品・サービスを提供。 ・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して事業を推進。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・ISO27001(ISMS)を取得し、組織的に情報セキュリティマネジメントを管理・運用している。 ・個人情報保護方針を策定し、公表している。 ・研修・イーラーニング等にて情報管理のルールを周知徹底している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の重要性、コンプライアンスに関する研修・イーラーニングを実施し、体制・仕組み・ルール・ヘルプラインを整備。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念、行動指針を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、説明会等にて、経営理念・経営目標を社員に説明し積極的に発信・共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画(BCP)を検証、見直し中。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									○		○		○			○	